

★川ごみ調査結果シート<乞田川>

よみがえれ、大栗川を楽しむ会

分類項目		数量	備考
■ 容器・包装ごみ			
飲料	○飲料缶(アルミ、スチール)	46	
	○ビン	1	(5~8cmの破片が20)
	○ペットボトル	14	
	○ペットボトルのキャップのみ	2	
袋	○レジ袋	16	&[かけら・破片]多数
	○プラ袋(レジ袋以外、菓子袋も含め)すべて	87	&[かけら・破片]多数
その他	○飲食系プラ容器(弁当・トレイ・飲料カップなど)すべて	27	&[かけら・破片]多数
	○紙パック・トロ箱、その他の容器包装	25	「紙パック」5、「紙袋」2、「発泡シート(破片)」17、「保温用シルバーシート」1
	○混在ごみ(複数の容器・包装類をレジ袋等に詰め込んだ不法投棄ごみ)	1	
■ 産業系ごみ			
	○土のう袋・フレコンバッグ	1	「土のう袋」
	○ブルーシート・農業用マルチシート		
	○鉄パイプ、産業系金属類		
	○その他	1	「畑作用支持棒(2m)」
■ 製品ごみ			
	○タバコの吸い殻	26	&「ライター」1、「箱」2
	○おもちゃ・靴・CD/DVD・ボールなど	2	「ボール」1、「スリッパ(一対)」1
	○衣類・オムツ・マスク・手袋など	10	「ジャケット」1、「マスク」8、「布」1
	○ビニール傘(普通の傘、傘部品含む)	1	
	○金属製品	1	「コード(5m)」1
	○その他	5	「ビニールひも」1、「プラスチックカード」2、「カラーペン」1、「アイスキャンディー棒」1
■ 粗大ごみ(不法投棄)			
	○自転車・バイク・家具・その他		

◆調査年月日:2023年7月16日(日)

◆調査エリア:向ノ岡橋上流100m~向ノ岡大橋(全長:約350m)

◆参加人数:7名

◆可燃系:4袋(20ℓ袋) / 不燃系:2袋(45ℓ袋)

◆特記事項:

梅雨明けと思える猛暑、日当たりで40度を超していましたが、湿度が低く(19%)何とか耐えられた感じでした。水分補給と休憩を取りながら、ほぼ1時間。一見ごみがないように見えていたが、川底に厚く敷かれたコンクリートブロックのすき間には、数多くの缶・ペットボトルが挟まっていました。